

令和7年度 千葉市農業集落排水事業会計当初予算について

令和7年5月27日（火）
令和7年度第1回千葉市下水道事業等経営委員会

目次

1 令和7年度予算の概要

- (1) 予算の基本的な考え方・・・・・・・・・・ P.2
- (2) 業務の予定量・・・・・・・・・・ P.3

2 令和7年度予算における重点事務事業

- 農業集落排水施設の再編・・・・・・・・・・ P.4

3 令和7年度予算

- (1) 収益的収入・支出・・・・・・・・・・ P.7
- (2) 資本的収入・支出・・・・・・・・・・ P.8
- (3) 予定経営状況・・・・・・・・・・ P.9



注 単位未満を四捨五入で表示しているため、合計が一致しない場合があります。

1 令和7年度予算の概要(1) 予算の基本的な考え方

【基本的な考え方】

令和3年度から令和14年度までを計画期間とし、令和3年3月に策定した千葉市農業集落排水事業中長期経営計画では、主に以下の事項を取組みの柱と位置付けました。

＜公共下水道への接続＞

各地区の処理場を廃止し、平山地区（公共下水道接続済み）を除く9地区を4地区に再編・統合して公共下水道に接続することで、維持管理費を含めた事業費を縮減し、一般会計繰入金を低減する。

＜公営企業会計の適用＞

（令和6年度から適用済み）

令和7年度は、施設の維持管理により適切な汚水処理を行うとともに、施設の再編を進めます。

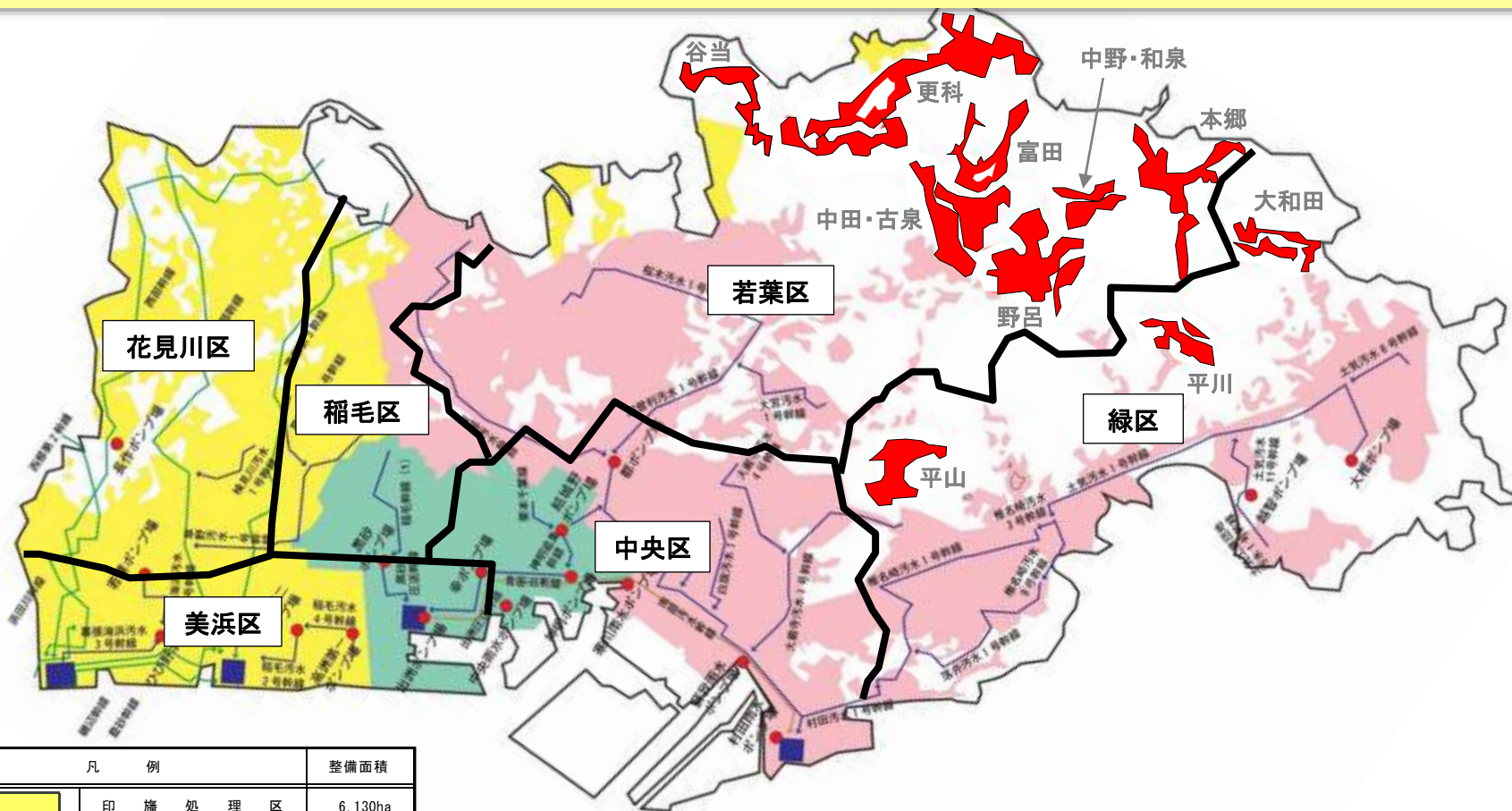
（なお、上記計画については、公営企業会計適用を踏まえた収支計画の見直しや事業再編に係る最新の進捗見込みなどをもとに、今後、本経営委員会の審議などを経て、令和7年度末までに改定を行う予定。）

1 令和7年度予算の概要(2) 業務の予定量

・ 汚水処理世帯1,841世帯 【参考：本市公共下水道 468,757世帯】

・ 年間総処理水量55万8,163 m^3 (1日平均処理水量1,529 m^3)

【参考：本市公共下水道 年間総処理水量1億1,619万499 m^3 (1日平均処理水量31万8,330 m^3)】

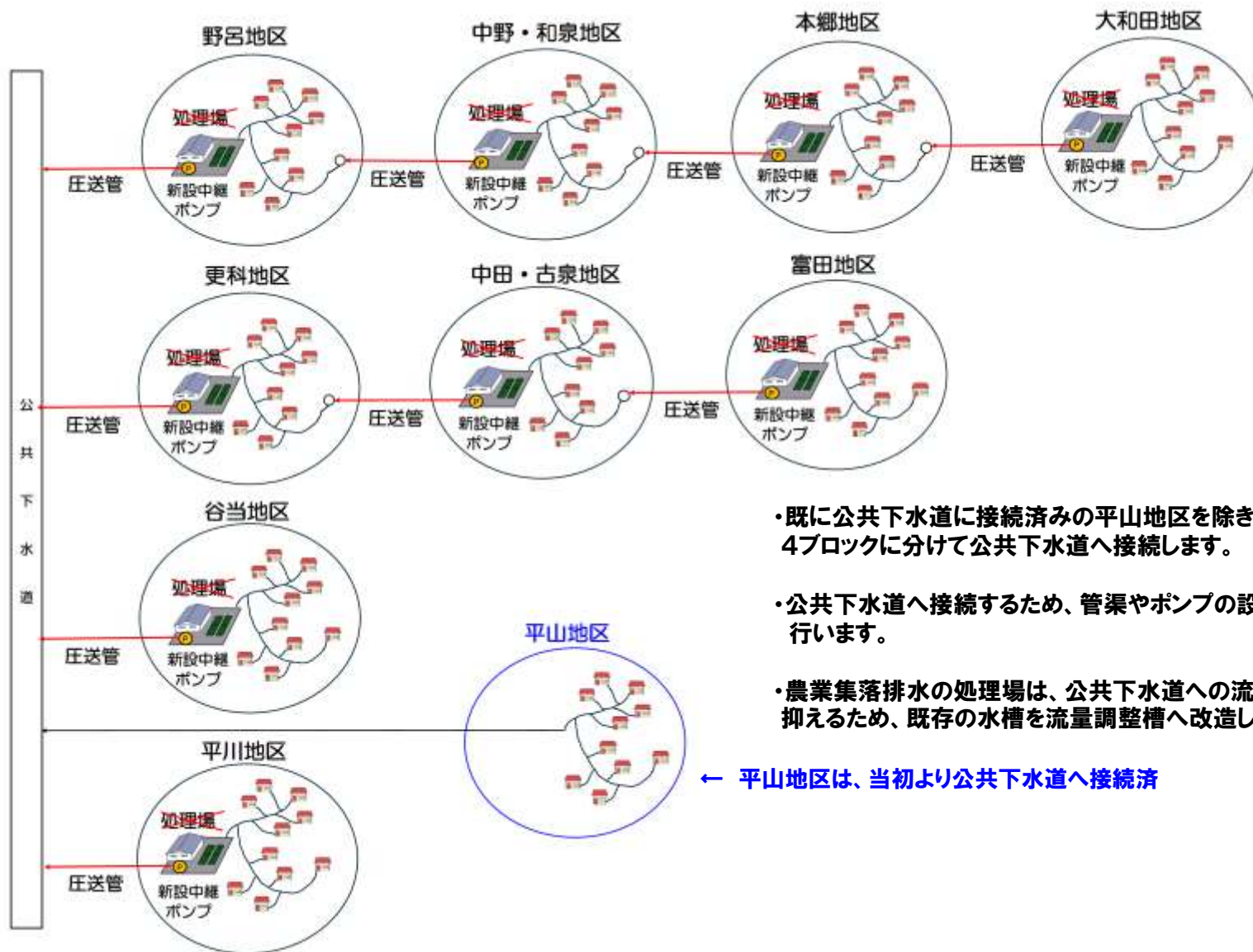


凡 例	整備面積
	印 旛 処 理 区 6,130ha
	中 央 処 理 区 1,665ha
	南 部 処 理 区 4,501ha
	農業集落排水事業計画区域
	合併処理浄化槽整備区域

2 令和7年度予算における重点事務事業

農業集落排水施設の再編

将来的な維持管理費を含む事業費を縮減するため、各地区の処理場を廃止し、公共下水道へ接続する施設の再編を引き続き進めます。



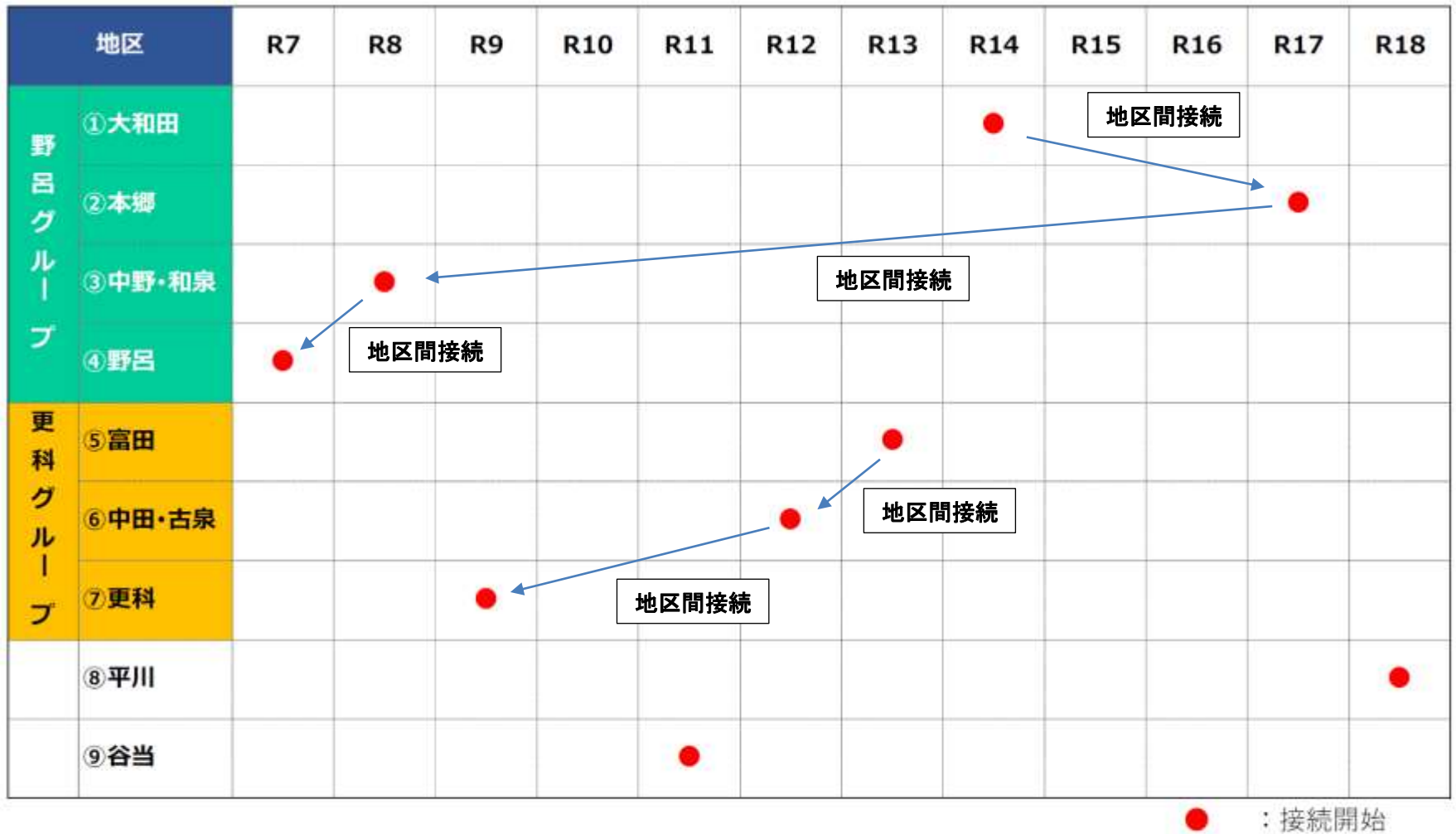
・既に公共下水道に接続済みの平山地区を除き、9地区を4ブロックに分けて公共下水道へ接続します。

・公共下水道へ接続するため、管渠やポンプの設置を順次行います。

・農業集落排水の処理場は、公共下水道への流量的負担を抑えるため、既存の水槽を流量調整槽へ改造し利用します。

← 平山地区は、当初より公共下水道へ接続済

再編スケジュール



※接続時期は現時点での予定

※大和田地区については、本郷地区へ接続後、R17までは本郷地区の汚水処理場で処理

主要施策

農業集落排水施設の再編259百万円 (R6:427百万円 前年比: 60.7%)

【更科地区】 中継ポンプ機械電気設備工事、舗装復旧工事

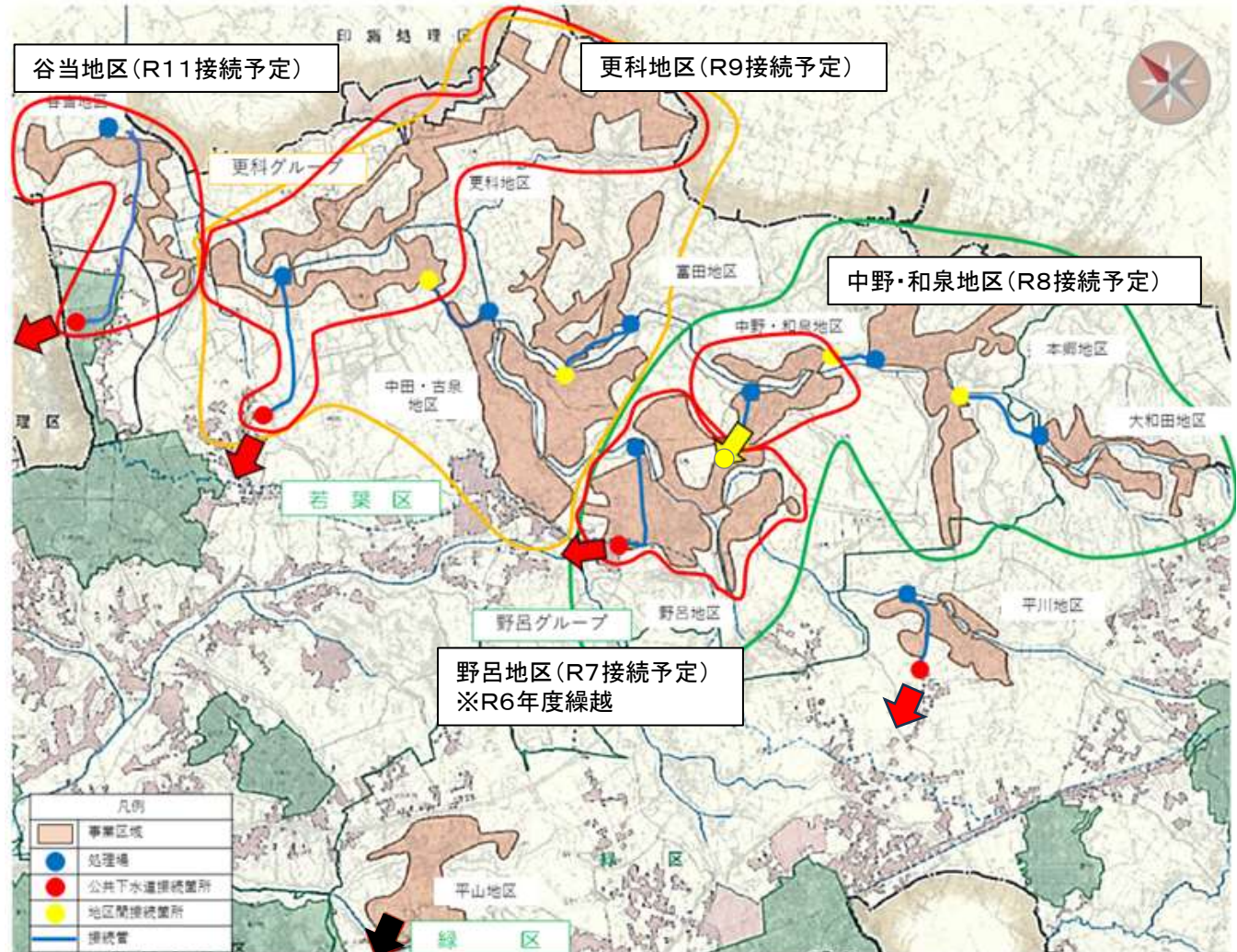
【中野・和泉地区】 流量調整槽整備工事

【谷当地区】 実施設計

更科地区污水处理場



新設ポンプ設備



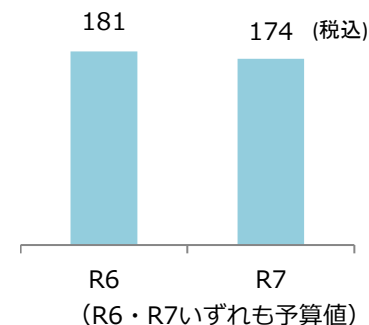
3 令和7年度予算 (1) 収益的収入・支出

収益的収入・支出

営業活動（維持管理等事業の運営活動）に伴う収入と支出のこと。農業集落排水事業では主に、農業集落排水使用料、一般会計繰入金が収益的収入に、維持管理費、減価償却費、企業債利息が収益的支出に該当する。

(単位：百万円・税込)	R7予算額	R6予算額	増減額	増減率
1 収益的収入 (農業集落排水事業収益)	548	646	▲98	▲15.3%
(1) 営業収益	90	93	▲3	▲3.1%
①農業集落排水使用料	61	64	▲3	▲4.8%
②他会計負担金	29	29	±0	+0.5%
(2) 営業外収益	458	553	▲95	▲17.3%
①他会計補助金	136	161	▲25	▲15.8%
②長期前受金戻入	322	391	▲69	▲17.5%
③その他	0	1	▲1	▲99.7%
2 収益的支出 (農業集落排水事業費用)	555	643	▲88	▲13.6%
(1) 営業費用	497	572	▲75	▲13.1%
①維持管理費	174	181	▲7	▲9.7%
②減価償却費	319	391	▲72	▲18.6%
③資産減耗費	4	0	+4	皆 増
(2) 営業外費用	57	48	+9	+20.2%
①支払利息	48	48	±0	+0.9%
②その他	9	0	+9	皆 増
(3) 特別損失	0	22	▲22	▲100.0%
(4) 予備費	1	1	±0	±0%

維持管理費（百万円）



主な増減要因

減価償却費の減少による減

前年度は企業会計化に伴い、耐用年数超資産をまとめて減価償却したため



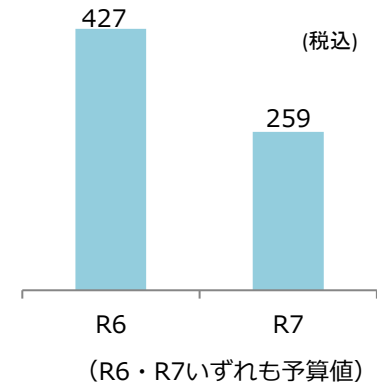
3 令和7年度予算 (2) 資本的収入・支出

資本的収入・支出

営業活動以外の施設の建設などの資産の形成に伴う収入と支出のこと。農業集落排水事業では主に、国庫補助金、企業債が資本的収入に、建設改良費、企業債償還金が資本的支出に該当する。

(単位：百万円・税込)	R7予算額	R6予算額	増減額	増減率
1 資本的収入	519	713	▲194	▲27.2%
(1) 企業債	174	324	▲150	▲46.3%
建設企業債	174	324	▲150	▲46.3%
(2) 補助金	314	388	▲74	▲19.1%
①国・県補助金	56	102	▲46	▲45.1%
②一般会計補助金	258	286	▲28	▲9.8%
(3) 負担金	31	0	+31	皆増
2 資本的支出	510	715	▲205	▲28.7%
(1) 建設改良費	259	427	▲168	▲39.3%
農業集落排水施設建設費	259	427	▲168	▲39.3%
(2) 償還金	250	287	▲37	▲12.9%
企業債償還金等	250	287	▲37	▲12.9%
(3) その他	1	1	0	±0%

建設改良費（百万円）



主な増減要因

建設改良費の減に伴う建設企業債の減

再編事業の進捗に合わせ建設改良費を計上



3 令和7年度予算 (3) 予定経営状況

「污水处理費」について

「污水处理費」とは、営業費用・営業外費用に属する污水处理に要する経費のうち、使用料を充当すべきものを指す。

なお、「污水处理費」は、修繕費などの「維持管理費」と、減価償却費、支払利息などの「資本費」に分けられる。

p.7 収益的支出

(単位: 百万円・税込)	R7予算値
2 収益的支出 (農業集落排水事業費用)	555
(1) 営業費用	497
① 維持管理費	174
② 減価償却費	319
③ 資産消耗費	4
(2) 営業外費用	57
① 支払利息	48
② その他	9
(3) 特別損失	0
(4) 予備費	1

営業費用・
営業外費用

・污水处理以外の経費
(農業集落排水事業では該当なし)

・使用料以外の財源を
充当する污水处理経費

・維持管理費(修繕費など)
・資本費(減価償却費、支払利息など)

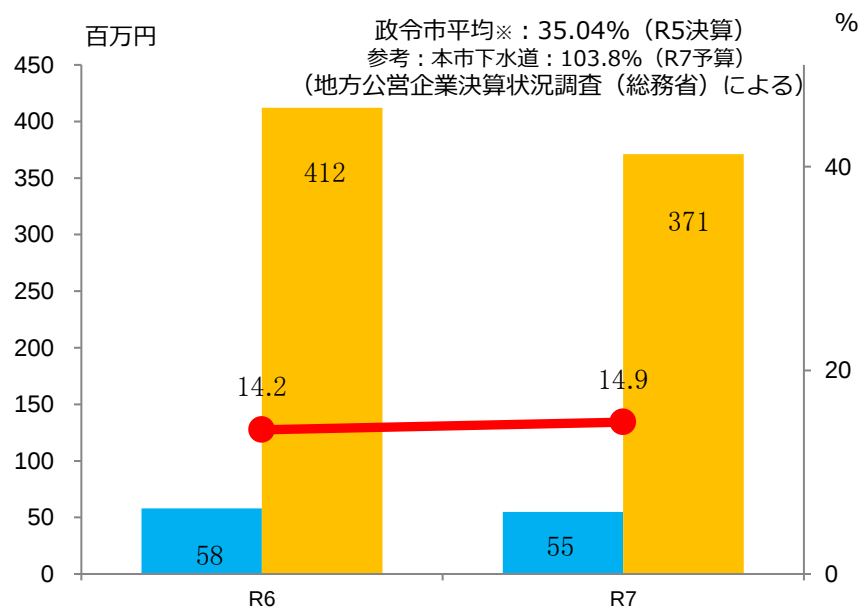
污水处理費
(使用料を充当すべき経費)

ただし、農業集落排水事業では使用料収入が十分ではないことから、不足分については一般会計補助金を充当している。

・維持管理費(修繕費など)
・資本費(減価償却費、支払利息など)

農業集落排水使用料・污水处理費・経費回収率

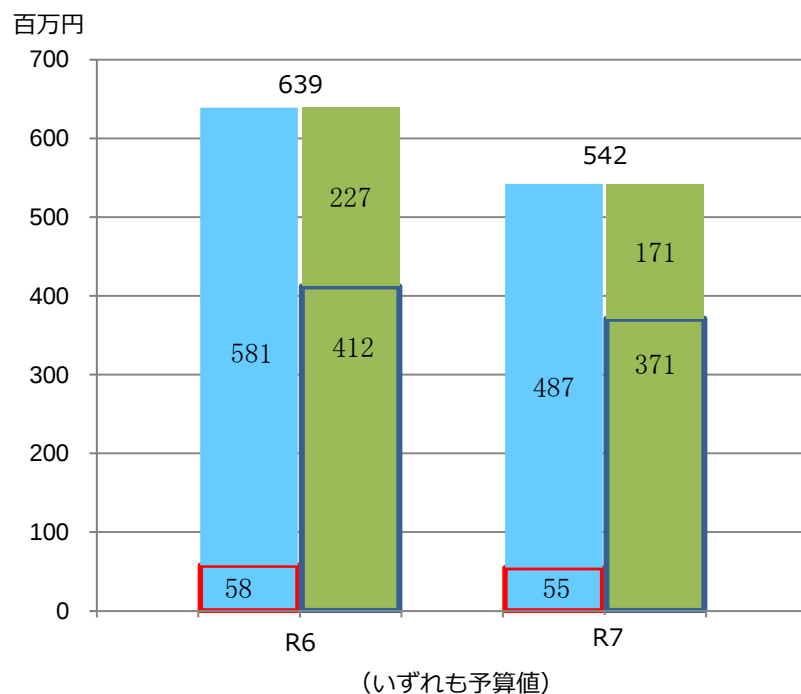
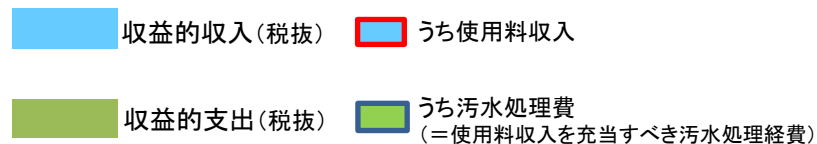
農業集落排水使用料 (税抜) 污水处理費
経費回収率 (右目盛)



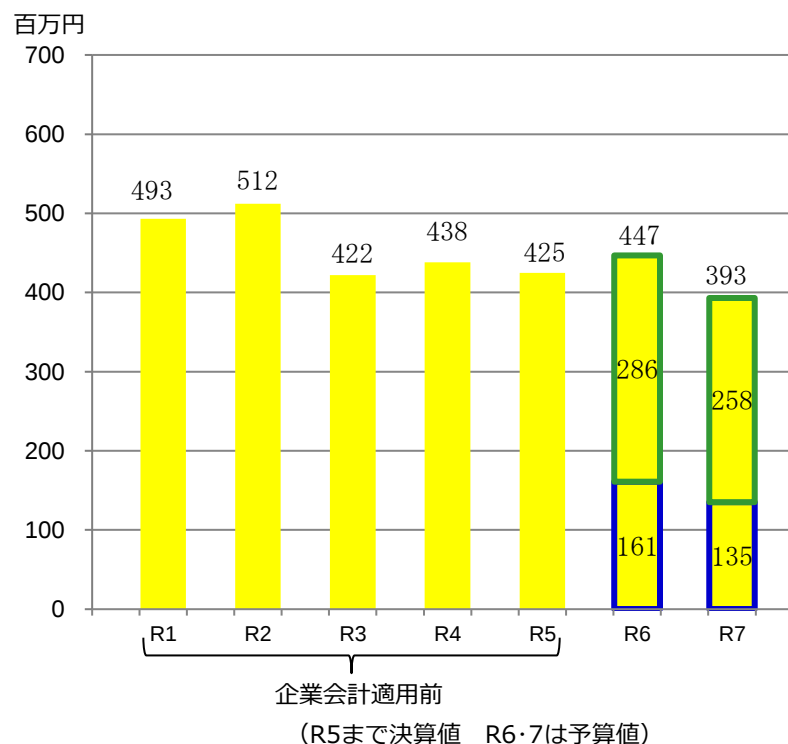
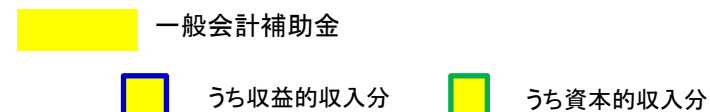
経費回収率(%) = 農業集落排水使用料 ÷ 污水处理費 × 100
(いずれも予算値)

※R5時点で企業会計を適用していた5市の平均

収益的収入・支出

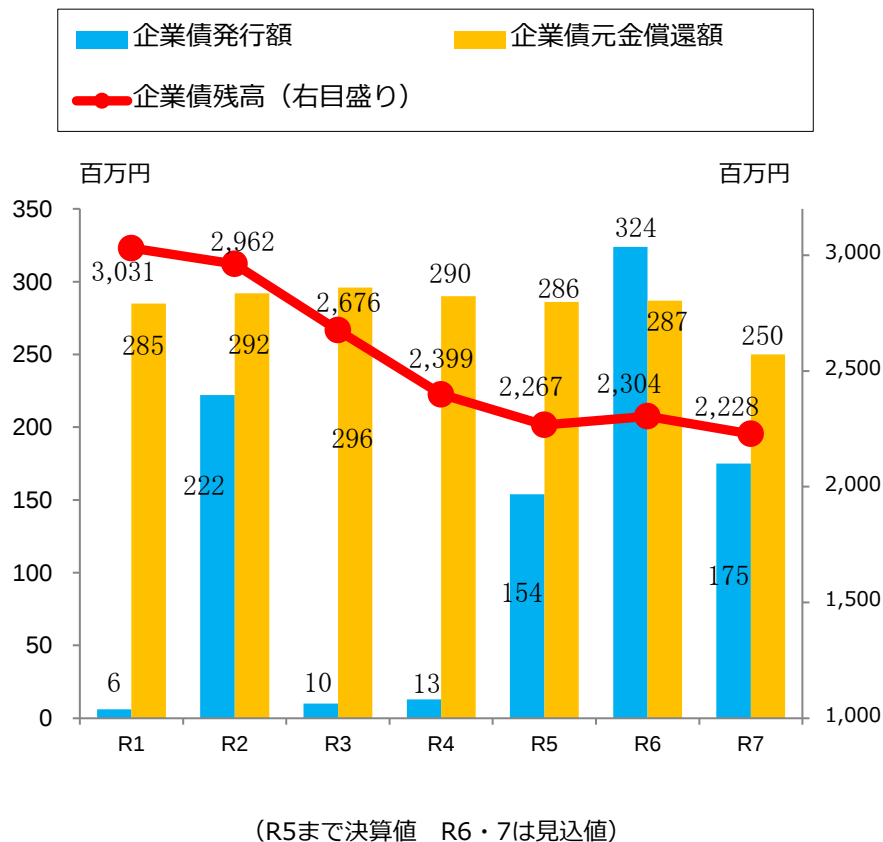


一般会計補助金

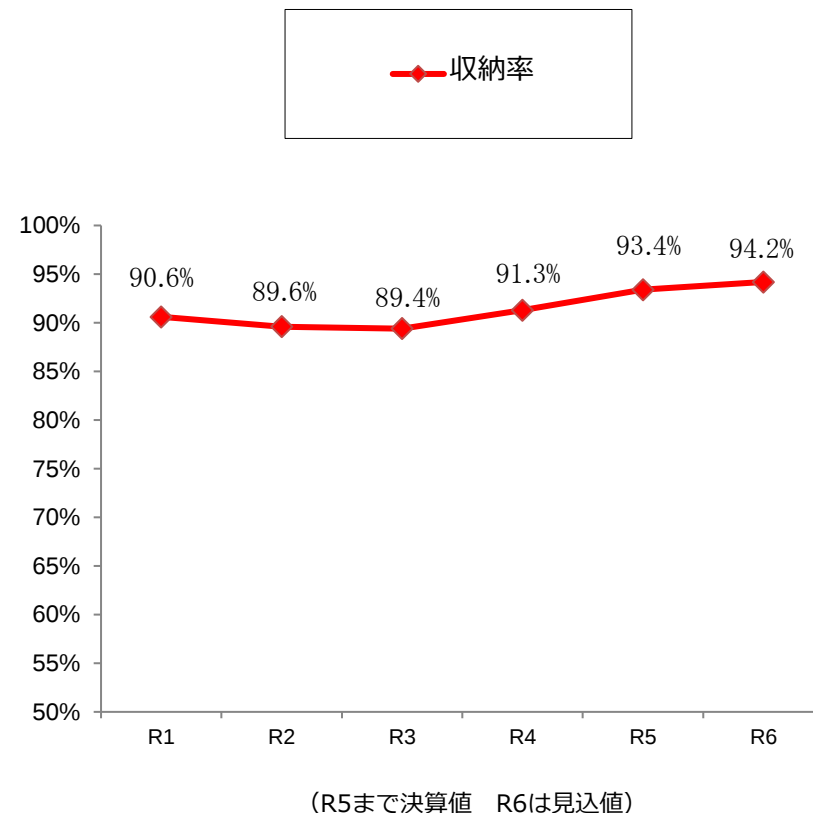


※農業集落排水事業は、人口密度が低い農村地域を対象としており、採算性が低いことから、収入の不足額を一般会計からの補助金で賄っています。
 収益的収入・支出では、収支均衡する額の一般会計補助金を繰り入れていることから、いずれの年度も**当年度純利益は0円**となっています。

企業債残高



農業集落排水使用料収納率



※ 3月調定分を反映させるため、5月末時点の収納率を記載しています。

(参考) 予定損益計算書

(単位：百万円・税抜)	R7年度	R6年度	増減額	増減率
1. 営業収益	84	87	▲3	▲3.4%
2. 営業費用	485	559	▲74	▲13.2%
営業利益	▲401	▲472	+71	▲15.0%
3. 営業外収益	458	552	▲94	▲17.0%
4. 営業外費用	57	57	±0	0.0%
経常利益	0	23	▲23	▲100.0%
5. 特別利益	0	0	±0	—
6. 特別損失	0	23	▲23	▲100.0%
当年度純利益	0	0	±0	—
営業収支比率	17.3%	15.6%	+1.7ポイント	
経常収支比率	100.0%	103.7%	▲3.7ポイント	

営業収支比率(%) = 営業収益 ÷ 営業費用 × 100

経常収支比率(%) = (営業収益 + 営業外収益) ÷ (営業費用 + 営業外費用) × 100

※特別損失は予備費を含む。

(参考) 予定貸借対象表 (バランスシート)

(単位: 百万円)

		R7年度	R6年度	増減額
資産		8,498	8,498	±0
	1. 固定資産	8,377	8,402	▲25
	2. 流動資産	121	96	+25
負債		8,318	8,318	±0
	3. 固定負債	2,100	2,147	▲47
	4. 流動負債	336	321	+15
	5. 繰延収益	5,882	5,850	+32
資本		180	180	±0
	6. 資本金	0	0	±0
	7. 剰余金	180	180	±0
自己資本構成比率		71.3%	71.0%	+0.3ポイント

自己資本構成比率(%) = (資本金 + 剰余金 + 繰延収益) ÷ 負債資本合計 × 100